

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成26年12月25日 (2014.12.25)

【公開番号】特開2014-134378(P2014-134378A)

【公開日】平成26年7月24日 (2014.7.24)

【年通号数】公開・登録公報2014-039

【出願番号】特願2014-90107(P2014-90107)

【国際特許分類】

F 2 5 D 23/00 (2006.01)

【F I】

F 2 5 D 23/00 3 0 2 M

F 2 5 D 23/00 3 0 2 F

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月12日 (2014.11.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

冷蔵温度帯の貯蔵室を有する冷蔵庫において、

ミストを放出するミスト放出部と、このミスト放出部に水分を供給する給水部と、前記ミスト放出部に負の電圧を印加する電源装置とを有する静電霧化装置と、

ミスト放出口を有して前記静電霧化装置を覆うように設けられた蓋と、を備え、

前記給水部には金属材料により形成された冷却板が設けられ、前記冷却板は、冷却される端部に比べて前記ミスト放出部に近い位置に結露水が発生する端部を有し、

前記ミスト放出部は前記冷却板表面に結露させた水をミストとして放出し、その放出されたミストを前記蓋の前記ミスト放出口を通して前記貯蔵室に供給する構成としたことを特徴とする冷蔵庫。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

一方、静電霧化装置を用いたものでは、ミストの粒径を細かくできる（例えば数 nm ～ 数十 nm レベル）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明は上記した事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、ミスト発生手段として静電霧化装置を用いながらも、給水の手間を極力省くことができる冷蔵庫を提供することにある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記した目的を達成するために、本発明は、冷蔵温度帯の貯蔵室を有する冷蔵庫において、ミストを放出するミスト放出部と、このミスト放出部に水分を供給する給水部と、前記ミスト放出部に負の電圧を印加する電源装置とを有する静電霧化装置と、ミスト放出口を有して前記静電霧化装置を覆うように設けられた蓋と、を備え、前記給水部には金属材料により形成された冷却板が設けられ、前記冷却板は、冷却される端部に比べて前記ミスト放出部に近い位置に結露水が発生する端部を有し、前記ミスト放出部は前記冷却板表面に結露させた水をミストとして放出し、その放出されたミストを前記蓋の前記ミスト放出口を通して前記貯蔵室に供給する構成としたことを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の冷蔵庫によれば、ミスト発生手段として静電霧化装置を用いながらも、給水の手間を極力省くことができる。